

町内井戸めぐり②

津花波のマカーガー

津花波公民館の前

には、マカーガー

という大きな井戸が

れ、ワンドゥーガーと呼ばれているようです。

聞き取りによると、以前は

あります。この井戸は、津花波部落の始祖であるマカーサーリーが使用した井戸なのでその名称がついたといわれています。

井戸の形は四角形であったが、大正時代には現在の形をしていたとのこと。

マカーガーは、井戸口の大きさが一三六センチ、深さ六〇五センチという深い井戸です。

井戸の造りは、円形の布積^{ぬのづ}みで、井戸底にいくにしたがつて幅が大きくなっています。

みなさんも津花波公民館の前を通る機会がありましたら、ちよつとのぞいてみてください。

マカーガーは、水道が敷設されるまで使用され、現在でも豊富な水量をたたえており、農業用水などに使用されています。

そのような形態の井戸は、那覇市首里近辺によくみら

ら、ちよつとのぞいてみてください。でも、くれぐれも立派な石積みときれいな水にとれてしまつて落っこちないように気をつけてくださいね。



△津花波のマカーガー

